京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲普通活字十七字詰一行一圓金五十錢▲新聞欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久伸一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

●歐米人謝恩展覽會開催の議（二）

寺實重邦

時節柄歐米人謝恩展覽會とは即ち本國たる日本及び保護國たる韓國の開國[illegible]民の進歩發展を促さんとし、[illegible]韓國に渡來し新學問、新[illegible]、新事業を輸入將來[illegible]の兩國に於ける事[illegible]を展覽する公會を[illegible]例へば露西亞人が[illegible]事業を裨益したる事業[illegible]の如く大なるものが[illegible]

安政元年十一月（西暦一八五四年）露國軍艦フリゲート型デアナ號には伊豆下田港に[illegible]、海嘯の爲めに船[illegible]の爲め駿河の宮島沖に沈没するや、船長プーチアンには[illegible]地を駿河灣に探り伊豆[illegible]其儘の天然の船渠[illegible]幕府の許可を得て松材[illegible]スクーナル一艘を此所に新[illegible]士官水兵を乗せて本國に歸航した、當時此のスクーナルを造るや村民を使用せしを以て[illegible]人は是が爲めに外國型船舶の建造[illegible]幕府の命に依り更に同型[illegible]六艘を建造した、其後、幕府横須[illegible]や當時露人に就きて[illegible]上田寅吉氏は横須賀造船所創業の技師長となり又日本に於て西洋型造船所を始めて設立せし緒明造船所の先代（今の東京品川砲臺なる緒明菊三郎氏の先代、本邦に於ける第一等の個人船主）の如き大坂難波島に造船所を開きたる佐山芳太郎氏の如きも何れも此時露人より習得せし戸田人である、其他龍骨を以て造船臺を作り肋材を建て肋材を植ゑ船渠を固着して外板に及び、或は緊帯鐵部を以て銅板に及び、或は鐵の根を製し、生麻にタールを浸して索を綯ふが如きは、何れも本邦人の絶えて知らざる所にして、此時露人より始めて傳はり、我國の造船術は是より全く革新せられたのである

然れば予は日本造船術の革新に對する露人の功績を深く徳とし、數年來、戸田造船に關する遺物の蒐集中にて、其内丈高き露國の艦長水兵と曲背なる日本の船大工と相嬉々として新造船を進水せしむる書（長さ三尺）の如きは、是を展覽する毎に露人に對する一種云ふべからざる好感を動かすのである、而して予の所謂日韓開國歐米人謝恩展覽會とは此の如き流の物を陳列する議である又韓國の開國をば日本の開國と同一にして展覽會を開く理由に至ては是を説かざるも諸君子の大概悟らるゝ所なるべし、偕て佛蘭西が日本の開國に對し裨補せしことの大なるは陸軍の創業横須賀造船所の創業、ナポレオン律の翰入等枚擧するに遑がない、而も佛蘭西が、韓國の開國に裨補せしは亦大なるものがある、吾人が今日便服緩帯して韓國に入るを得るに至りたるは、實に佛人の努力に負ふ所少なからず予の知れる丈にても左の如きものがある

天保六年（一八三五年）佛國宣教師プルジール、初めて韓國に至らんとし途中奉天にて斃れた、同行のモーバン屈せず、義州の關門に虎口を脱して僅かに京城に入つた、是が外國人の韓國に定住せし者の初めである翌七年、佛國宣教師シアスタン來り、翌八年同アムベル來る、九年三師共に韓廷に捕へられ、拷問三日、其志を變せず、市に斬られて首を梟すること三日後遺骸と共に漢江の砂礫に棄てられた（未完）

●錦江の結氷と運輸

錦江上流は去月三十日來の嚴寒の爲め結氷し汽船は熊浦まで航行し得るに過ぎざるより群山、江景間の交通は爲めに杜絶の姿となり郵便物の如きも陸送を開始するに至りたるが昨今稍々輕暖を覺ゆるに至りしより流氷の爲め船舶の航行は一層危險となりたれば江景と群山の水路交通は此處暫時解氷を待つの外なかるべしと

地方通信

▲釜山通信

▲食料品市場の設置　日用食料品小賣市場は現今富平町に一箇所設置しあるのみにて爲めに西町、大廳町、幸町、辨天町方面の在留者は凡て各戸に就て購求せざる可らずして往々僅少の買物に對しても需要者に不便を與ふる事尠からざるより茲に幸町一丁目小野久氏は同氏屋敷内の空地約二百坪を利用し一般需要者の利便と且つ供給品の低廉とを旨として日用食料品小賣市場を建設せんと目下其筋へ出願中なるが民團當局にても斯る事業は大に公衆の利便ともなる事なれば詮議の上成るべく許可する方針なりと云ふ

▲備人獎勵會の組織　當地の諸會社、銀行員にして一箇所に七年以上の勤續者を勤續獎勵會なるもの組織さる計畫にて目下會員を糾合しつゝあるを以て不日第一回を開催する豫定なりと云ふ



▲平壤通信

▲助役廢止決定す　去る四日民會に於て議決の結果民團助役を不置するに決定し直ちに理事廳に認可願を提出したるが諸頃理事官は直ちに認可せり

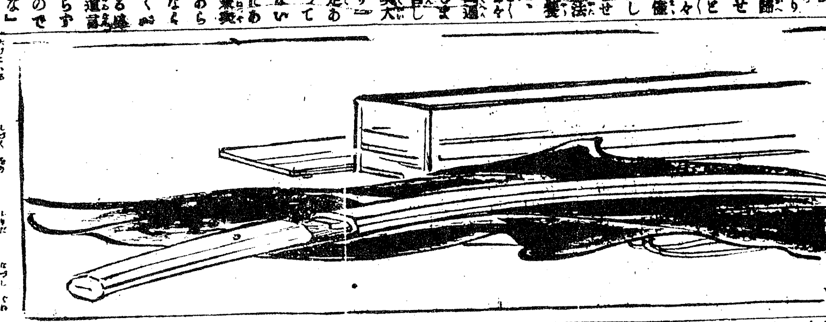
▲雜穀市場の昨今　昨今興業會社農工銀行の兩倉庫には雜穀の倉入多きと共に白米の倉入れも增加せる由なるが白米は内地相場下落し不引合の爲め當地に於ても從來取引殆ど皆無なりしに解氷期の漸次近づくに隨ひ二三商人の見込み買を初めたる爲め斯く倉入れの增加を來たせしものならん尚大豆は益々好況に赴き阪神間の同相場は當地結氷當時七圓なりしも目下は八圓十錢を唱へ漸次昂騰すべき見込なるより當地商人の買進むもの愈々多く昨今は五圓四十錢を唱ね粟も見込買をなすもの多けれど相場は從前の如く保合ひなりと

▲金融逼迫と韓商　韓人商界の不振に就ては曩に報道し置きたるが韓人側に於ける金融界は昨春來日人間に於ける金融逼迫の餘響を受け邦人より融通を受けたりし借受金及び貸掛代金の嚴促と共に其後一般に現金受引となり且彼等の信用程度は最も低くして銀行その他金融機關を利用すること能はず韓人に對する貸附金は著しく手扣へられ加之米價の暴落は甚しき打擊を彼等に與へたる等にて益々窮境に陥り今や舊節季も目睫に迫り而してその決濟資金等に一層困難を脊めつゝありと

日本銘刀傳

第四十席　邑井一貞講演

虎「君恩の程有難き仕合せに存じ奉りまする」と嬉涙を流して、我家へ歸りましたが、母の死去さへなかりせば、如何許り嬉しきことであらうかと悲嘆の涙と嬉し涙　虎「アゝ……悲喜交々至るとは、此のことか、チヨさても儘ならぬ世の中や」と漸くに氣を取直し、愛に始めて母の死を一家親族に知らせ且つ上へも届けて、野邊の送りは法の如く濟ませました、七日〳〵の供養も怠りなく、四十九日となりました。時に虎次郎一家を集めて　虎「さて各々樣、今般思ふ仔細あつて、私は韓國遍歴の上、今一つ修業致したいと存じます、何卒御承知に預りたい」と發言したとき、皆親類は驚きました　甲「其大層の御扶持を上より頂いて、先頃より層れ覺ね目出度身の上が、何の不足あつて修業に出づるや、此國に止まつて君に忠義を竭して居たら宜いではないか」と止めました　虎「イヤ〳〵左にあらず此度御前体に於て、文珠五郎兼興と勝負をしたは、手でか吾の力にあらず、太刀を持つて鎗を切らば、少なくも裏缺かぬまでも、疵ぐらゐは附くべきに左はなくして、却つて勝を得る條、母が一心を籠めたる庇蔭、其母の遺言に依れば此國に止まるは本意にあらず、母の遺言を守つて、此地を立退くので、ござれば各々方必ず打止め下さるな」と言はれて一同道理のことなりと承知を致しました、其處で翌日れ暇願ひを出しました、然るに殿樣か何うしても許しがない、其他の重役に於かせられても、虎次郎に暇を出すことを不承知を唱へまして　甲「畢竟文珠五郎兼次なるものがあるから左樣なことを申すのであらう、彼に暇を遣はすから當家に止まれ」とまで仰せを蒙りました　虎「イエ〳〵決して左樣な卑怯な心底ではござりません、何うかれ暇を……」と云つたがれ聽入れがない、據なく長曾根沖里は意を決して家財道具は金澤の城内を逐電致しました、加州家では大騒ぎ、何れへ往つたであらうかと、悉くの心配、虎次郎は大功は細瑾を省みずと云ふ心得で、佐馴たる石川郡を後になし、時は慶長十九年七月の下旬、心細くもトボ〳〵と、生れ出でにし故郷かと、思へば名殘り惜まれて、跡に心も能琴村、操を替へぬ操任や、やがての末は名取川、美川招きしこともならねど、旅路は淋しきものなれば、母のことども思出で、心も最ど動橋、君の情げも大聖寺、三日路過ぎて音問へば、早くも來ぬる北の庄、此處は名に負ふ勝家が、滅びし所と思ひ出で、さすが昔の忍ばれて矢竹心の一と雫、折しも降出す夏時雨、三國ケ嶽の頂きも、霧に隱る、有耶無耶の中に疋田も後にしつ、來りし處は近江の琵琶湖、志す地は都なりと、終に西京へ着しまして、當時名高き粟田口近江守一竿齋忠綱といふ人の門に入り母の遺言を守つて刀劍鍛冶となり、其鍛ねたる刀は岩をも徹し虎をも徹すと云ふ世の好評を得まして、名を虎徹と改めよと、師の忠綱より命ぜられ、世の人虎徹の刀劍を尊ぶこと大方ならず、老年に及んで長曾根沖里入道虎徹と自ら名乘りました、唯今でも新刀ながら虎徹のものなら、四五百金はいたしませうか、兎も角も刀劍中興の名人、虎徹が鍛冶を廢して、名譽の刀劍鍛冶となりましたは斯ういふ次第でございます、此の虎徹の刀も今では餘り澤山にございません、東京の京橋八丁堀と申す所に與力同心と云つて御役人が居ました、此の與力のうちなる有名な國學者橘千蔭先生の家に一本出來の好い虎徹の刀が傳つて居る、今一本は會津の小鐵と云ふ俠客が持つて居た、此の小鐵が大層長曾根入道虎徹の刀を愛して肌身離さず持つて居たのが、遂にコテツと云ふに因みまして自ら小鐵と名乘りました位であります、依つて會津の小鐵の御話を簡單に伺ひます



東京電報

●政友會豫算査定

政友會の豫算査定方針決定せり(一)商務鐵道費は削除(二)教育費の增加は一割五分を節(三)滿洲樺太臺灣の在勤官吏增俸は之を否認す(四)澎湖灣警備費は政府より豫算の形式を改め提出するにより之を認むべし(七日夕着)

●客年輸出生絲

客年中の生絲輸出高は合計一千三百四十六万五百四十六斤價格一億二千二百四十四萬三千三百三十九圓又たピンは二千万四百二十九斤價格一億五千百七十七萬四百四十六圓に達せり(八日着)

●日清郵便條約

日清郵便條約の內容は開放十七箇所の南滿洲七箇所を日本に保持し滿鐵線外の郵便物は今後清國郵便を利用すべし(同上)

●貴族院減租案

地租減租案に對する貴族院の形勢は研究會木曜會、茶話會等何れも一歩を固持し居れり(同上)

●鍋島子爵の逝去

子爵鍋島直[illegible]氏逝去せり(同上)

歐洲電報

●米獨通商條約

獨逸國會は米獨通商條約を可決せり

北韓交通問題(下)

（久水理事官の談）

黑船の勝算を觀望して元山、永興間の道路改修の緊急なるを述べたる同氏は更らに進んで成鏡の交通を完全ならしむるは急務なり[illegible]路の不完全なるに基因するものなれば從來の國道と稱するものに少しく改修を加ふれば城津、成興、元山間の取引旺盛を極むるのみならず其の中間に位する地方の農產物を元山に集中し而して[illegible]首ならしむるは其の先決問題として道路改修を行ふに如かず即ち[illegible]たる元山にして繁榮なる[illegible]る北韓各地に波及するは勿論なり、更らに氏は話頭を轉じて國境貿易に移るや現在世論の[illegible]以て其の中心點となすは甚だしきものと云ふべく[illegible]して價値なきのみならず[illegible]るとも完全なる港灣を[illegible]能はざる處にして只陸[illegible]して使用さるべき商港[illegible]發展を見るは聊か疑はし[illegible]よりは寧ろ雄基港を以[illegible]すれば却つて成功する[illegible]港灣としても清津より[illegible]を地形より見るも浮春[illegible]離にして運賃及び時日[illegible]と比較すれば遙かに經[illegible]ながら國境貿易と徒ら[illegible]ると雖も現在の有樣に[illegible]覺束なし該貿易を盛ん[illegible]先づ交通を便ならしむ[illegible]は雄基港より浮春に至[illegible]通ずる道路を改修する[illegible]を肝要とす云々

林政基礎調査

（齋藤山林技師の談）

新任農商工部山林局勅任技師齋藤音作氏を訪ひ森林行政に關する方針如何を叩きたるに其語る處如左(電通)[illegible]に三週間に過ぎざるを[illegible]き意見を有せず折角現[illegible]前任者の遺されたる計[illegible]て徐ろに其方針を確定[illegible]知の如く韓國の現在の[illegible]暗黑の裡に在り故に[illegible]森林の存在を明かにし[illegible]針を定めんと欲すれば[illegible]的狀況並に其沿革慣例又官有民有の關係を知[illegible]之が爲めに最近に實地[illegible]に必要なる經費支出方[illegible]目下準備中なり而して日本に於ても森林行政[illegible]る考量を遂げ近く決定[illegible]維新後十五六年を經過[illegible]又北海道の如きも漸く[illegible]を見たる程なり概して[illegible]て韓國のみならず一般[illegible]るが如し然れば韓國林[illegible]むを得ざる結果なりと[illegible]して如上の調査は方針[illegible]にして其結果管理機關[illegible]手或は奬勵の方針に出[illegible]國家自ら經營す可き乎[illegible]の林是を定むるあらんと欲す云々

官商結托の實例

統監府及通信管理局官吏が通關免稅の特典を享有し居るの非理不法は別問題として彼等が其特典を濫用し窃かに市商と結托し私利を貪りつゝあるは斷じて宥すべからざる罪惡なり故に京城日本人商業會議所議員は既報の如く該特典の撤廢期成を協議し兩三日中に統監府へ建白書を提出して之が廢止を訴ふる筈なるが今其結托の實例を探査するに頗る手段の巧妙を極め一例を擧ぐれば或る商人が彼等吏員の家庭に出入して或る注文を受け其際貴名を借用すれば通關は免稅せられ相互の利得尠からざる旨交涉し遂に利慾の爲めに默契成立し脫稅の犯罪を犯かしつゝあるが如し而して狡猾なる市商等は斯くて巧みに官吏等を欺き一品の注文に對し數品を取寄せ其中より撰擇を乞ひ他の殘品に依りて不正の利を漁り居るものなり此手段は屢々續行せられ延いて正當商估の妨害を釀出し玆に這般の紛擾を惹起せるなりと某當局者は語れり

順川暴動損害

客月二十九日平安南道順川に起りたる暴動の爲め在留邦人の被りたる損害に關しては其の筋に於ても目下調査中の由なるが今各所に達したる報告を綜告するに郵便取扱所の公金七百餘圓の紛失を始め邦人の家屋、器具衣類其の他損害額は約一万六千圓位に達すべしと

東拓上告陳述

峯岸繁太郎氏對東洋拓殖株式會社總會無效宣言請求事件の上告に就て高等法院は七日上告代理人高橋、皆川、岩田木尾の四辯護士を出廷せしめ上告に關する陳述を聞取りたり、本件に關する裁判長は中山判事にして陪席は淺見、牧山、石川、平山四判事なり

旅順公判開廷

安重根外三名の公判は七日より旅順高等法院に於て開廷したるが官選辯護士日本人二名の外は一切許可せず公判は約一週間を以て閉廷する豫定なりと云

●平南遂安金鑛狀況

英國セール鑛業會社が經營せる遂安金鑛は其の經營せる事業の狀態を韓國政府に報告するの契約あるを以て頃日其の筋に到達したる報告書を見るに客年中最も經營に力を注ぎたる場所は四鑛の內ホルコルにて課業日數三百五十一日常雇及日傭人夫一日平均三百九十一人を使用し搗鑛水車をソクタリーに設けホルコル鑛業所とソクタリー間に延長一哩の輕便鐵道を布設し電話八哩を建設して各鑛區搗鑛所、積出河岸の間を連結せる上に病院を設けて實費施療を爲しつゝありて客年五月より十二月三十六日迄に日韓清の三國人並に歐州人を合せて三千三百十九人の患者ありしが此內千七百五十三人は會社の使用人なりしと採鑛量はホルコル鑛區試堀に於て一萬五千噸の鑛石を得此內八百二十七噸は精錬して六二、八オンスの金を得二万七十三圓の代金を得たるが此以外に於て鑛石のまゝ米國に送付したる若干噸あり其代價として一万百四十四圓を收めたるを以て最後通算すれば三萬二百十七圓は昨年の收入なりとさ

●平壤鑛業擴張前提

平壤鑛業所の事業經營方針を確定する爲め其筋にては炭層存在の狀態を精査する爲め去る四十一年末より越後地方に行はるゝ俗に上總堀と稱する試錐機を以て露頭の探鑛に從事し更に四十二年四十三年に亘りてダイヤモンド鑿岩機二臺を以て試錐を行ふことゝし一臺は四十二年一月中其の据付を了し目下操業中なるが高坊山運炭機關の新設及前頂ダイヤモンド試錐事業は第一期擴張豫備として總に十五萬圓を支出するものにして一兩年後に於ては大々的擴張を爲すの前提なりと云ふ

●共進會出品の圖表

福岡及名古屋兩共進會へ出陳すべき韓國各般の圖表は戶口、敎育、銀行、貿易、金融、產業、土地、鑛業、氣象、水產、山林、鐵道、航路、通信、工事、衞生、統計、官吏、政治機關等の十九類に分別し一見韓國の現狀を窺悉するに足る頗る精密を極め居れり而して該圖表案は既に審查決定し目下農商工部商工局に於て製作中なるが同時に之れを冊子として普ねく配布す可しと云ふ

●京城民會の第一日

京城居留民會は一昨七日午後六時より民團樓上に開會したるが出席議員十四名にして既報の議案に付き議事を開きたるも結局小學校敷地選定其の他一切の議案は委員附托となり議長は皆川、中島、石井、山口、秋吉の五名を委員に指名し來る十三日迄に委員より報告することに決して午後十時散會したり

●測量業者取締規則

京畿道觀察使は土地測量業者取締規則を發布せり其要點は該業を營む者は免許を受くるを要し又報酬及其他の費用は豫め之を定め當局の認可を受け測量に着手する時は場所地目面積筆數を詳記し警察へ申告し其他該業者の違犯に對し嚴重なる拘束又は制裁を設けあり

●統監官邸の大夜會

曾禰統監官邸に於て各國總領事及び其他知名の外國人を招待して盛大なる夜會を開催する筈なるが統監不在中なるを以て多分石塚總務長官事務取扱代つて主人役たるべく時日は未だ決定せざれども二十四五日頃ならんといふ

●在浦鹽韓人の內訌

浦潮に於ける排日派韓人間に此程意見衝突し內訌を生せる結果同志の一名を慘殺せし爲め加害者八名逮捕さるゝに至りしかば同排日派の機關新聞たる大同共報は遂に休刊するに至れりと云ふ

●度量衡檢定ご地方

改正度量衡の普及と共に破損器修理及其の檢定及自然的公差を生じたるものに對する檢定は當然必要なる事柄なるが當局者は之が救濟の爲め來年度よりは道に檢定所を設置し吏員を常置すと云

●參與官會議の例會

八日午前十一時より統監府會議室にて參與官會議例會開會石塚長官事務取扱小宮、荒井、木內、俵、松井、小松、國分の各參與官及岡本通信管理局技師、松寺司法廳長官代理等出席せり

●江陵街道交通杜絕

鳥致院より提州平昌を經由して江陵に通ずる街道は積雪二尺に達し加ふるに寒威激烈なる爲め交通杜絕の有樣にて去月三十日以降郵便物も不着なる由

●中央大學支部擴張

中央大學にては支部擴張の爲め近々菊池博士、花井博士等來京の筈なるが當地支部に於ては兩博士等の入京を機とし校友會を開き大に歡迎を爲すべしと

●學齡兒童の屆出方

仁川民團の本年度學齡兒童數は百六十餘名なるが右は來月十五日迄に戶籍謄本を添附して民役所に屆出づべしと

●安重根の從弟來京

安重根の從弟安明根なるものは鄉里に於て約百五十圓を金策し此程入京したるが同人は船便を得旅順へ赴くべしと

●東亞烟草會社近況

▲工場增設　五百坪に亘る煉瓦建て作業工場增設の筈にて目下地盤工事最中なるが竣工は六七月の交ならんと

▲職工　は日本側にては男女合して約五十八人是は主として韓技工の指導に膺る他韓人側にては男二百五十八人女二百十余人なるが韓人側は何分規則的事業に馴れざると心理的自から日本人と趣を異にし操縱の上に於て目下の處困難を感ずる事鮮かならざる由なれども社員は熱心に陶冶指導に腐心しつゝあり同敎育に就ては加藤所長の唯一の理想にて今の處未だ正式授業開始の運に到らざれども作業上の都合を計り一日一時乃至一時半の時間を敎育に割き居れり今後事業の整頓に伴ひ追々擴張すべきは勿論の事なり

▲日工と韓工　の作業比べは今の處一人と四人の割合にて會社の算盤上遺憾少からざれども是亦た練習中にて悲觀すべきにあらず併し充分習熟の後なり共に工同等の働は蓋し期し難からん

▲製造額　目下日々の製造高は三十萬本なるが製造開始以來未だ發賣せず他意味あるにあらざるも各地販賣所分配の額に達せざるが爲なり

▲韓烟混用　に就きては目下試驗中にて是に對しては改め說話する程迄の域に進み居らざれども試驗成績の上是非使用仕度き見込なり

韓銀瞥見錄（終）

一スイロオ生

▲市原木村の二重役は總會準備の爲め東上の途に就きたり、彼等が如何なる自信を有しまた如何なる覺悟を以て總會に臨むやは記者之を知らず、思ふに生れて始めて勅任待遇となりたる彼等は株主を見ること人民位に馬鹿にし居るなるべし。

▲內地株主の多くは韓銀株現在の高値に醉ひ何等同行の前途に就て疑はざるべし、彼等は韓銀の營業方針を知らず、亦た經營者の人物手腕を知らず、年六分の配當保證ある五箇年內に於て銀行券發行高が三千萬圓位に達するなるべしとの夢に取付かれ居れり、故に彼等は案外に樂觀して總會に向つて何等質問さへ爲さゞるべし、されども。

▲內地株主の安心せる態度は銀行の實狀を知らざるが爲なり、此間消息を看取せる市原總裁が特に總會を本店所在地なる京城に於て開かずして態々東京に持行きたるは事情に通せざる株主を愚弄するに便なるが故なり

▲聞く一銀時代に在つては仕拂保證の付ける一銀小切手は郵便局及他の官衙に於て銀行券同樣受取りたるものなりと、而るに今日に於ては國庫たる韓銀が一銀小切手を排斥する爲め郵便局其他に於て受取らざることゝなれりと、思ふに韓銀が斯る手段を採るに至りたるは一面一銀の當座預金を自行に奪はんが爲め一面一銀の信用を傷けんが爲ならんか。

▲釜山は現在半島貿易港の最重要地なり、韓銀此地に支店を置かず一銀支店をして代理店たらしむ、釜山にして而らば仁川、群山、木浦、鎭南浦、平壤、元山等の如き百三十、十八若しくは農工等の各銀行支店所在地は韓銀支店を置かず之等各銀行の支店に代理店を依囑すること寧ろ當然なるべし。

▲前述の如く爲さんか韓銀は實際に於て中央銀行の働きを十分に爲し得べし同時に自家の損失經費を免かるゝ點に於て大に利することを得べし斯る一擧兩得の途あるに當つて何を苦んで預金吸收の手段を講じ或は區々たる營業上他店と競爭するの愚を敢てするを要せんや。

▲瞥見錄回を重ぬる事十記者は思はず不用の文字を以て讀者諸君を苦しめたり、只本稿に因つて假令聊かにても世人をして現在韓銀の如何なるかを知らしめ得たりとせば望外の幸なり、擱筆。

●鶴岡氏の送別會

官民有志の發起に係る農商工部書記官鶴岡永太郎氏の送別會は一昨七日午後六時より花月樓に開催されたり出席者二百余名澤田牛麿氏發起人を代表して一場の挨拶を述べ次で石塚總務長官、戶叶大韓日報社長の送別の辭あり鶴岡氏之れに答へ夫れより花月、獅翠、清華、松葉、有明、各樓藝妓の手踊、千朝の落語、井上某の筑前琵琶等の余興あり主客歡を盡して散會したるは午後十一時なりき當日出席者の重なるは宇佐川男、石塚總務長官、木內、荒井、俵、國分、小松の各參與官、吉原副總裁、若林警視總監、古城民長、中村會頭、林、井上兩理事、趙農相、任商度相、其他文武官民新聞記者等也

●卒業證書授與式

天道敎附屬講習所にては七日卒業證書授與式を擧行す

●農林學生討論會

西北學會附屬農林講習所生徒約五十名は七日同會內に於て討論會を開き頗る盛會なりしと

仁川海戰紀念

仁川在留民の忘れんとして忘るゝべからざる第六回海戰紀念日は來れり今左に本日に於ける祝賀次第を報せん

▲海岸の篝火　八日夜は屢々報せしが如く木越將軍が眼前に敵を控へながら悠々と仁川港に上陸したる當夜に當りしかば仁川民團よりは稅關前及び水產會社附近の海岸數ケ所に篝火を焚きしが炎々たる猛火は天に沖して其壯觀云はん方なく勇ましかりける當年の壯擧を追想せしめたり

▲市中の祝意　仁川の各銀行支店其他は業を休み亦た市中一般國旗提灯を吊して祝意を表すると共に午前十一時より日本公園大神宮に有志者集合して紀念祭典を行はるゝ筈

▲紀念祝賀會　午後三時三十分より仁川俱樂部に於て官民聯合の紀念祝賀會を開催せらるゝ筈なるが來賓として陸海軍將校數十名を招待したれば定めし空前の盛觀を呈するならん

▲三將軍出席　右祝賀會に出席の爲め大久保軍司令官、木越師團長明石憲兵長其他各部隊長二十余名は三時四十九分仁川驛に到着せらるゝ豫定なれば其時刻を測り民團より十數發の煙火を打揚げらるゝ筈なり

龍山通信

（八日 支局報）

▲軍司令等官下仁　大久保軍司令官、木越第六師團長以下在龍將校の多數は本日の仁川デーに臨時列車を受け午後二時十八分龍山發列車にて[illegible]三十分歸龍の豫定なりと

▲臨時派遣隊交替　渡邊少將の統率する韓國臨時派遣隊は來る[illegible]九、第十五師團の兵と交替[illegible]決定したりと云へり

▲第六師團交代期　此程來取沙汰され[illegible]たる如く第六師團兵の交替[illegible]を四月に繰上げらるゝの件[illegible]其他の都合に依り多分事實[illegible]なるべきも今日にては未だ[illegible]にあらずと

▲宮岡少將の東上　宮岡少將は本月七日馬山出發東上せり

●石井少將の歸任　統監[illegible]東上したる石井統監府附武官[illegible]後八時十分南大門着列車に[illegible]

●清水書記長着任　[illegible]り高等法院書記長に榮轉し[illegible]

●久治米技師入京　農商[illegible]鑛場長久治米郵藏氏七日入[illegible]

●林半祐氏の退京　[illegible]同氏は滯京中の處七日開城[illegible]

▲治外法權▼

桂さん[illegible]頭の還口は何と云つても宜[illegible]院に於ける脇引容赦丸で無[illegible]くが如しだ、無學と無邪氣[illegible]居る還良先生達がイタヲブ[illegible]到底相撲にならぬ▲桂が大[illegible]朝に似て居るが鳴くまで待[illegible]そつくりだ、當分の天下は[illegible]彼の物だ▲官吏關稅免除の[illegible]京城商業會議所が反對の決[illegible]は至極尤だ、本件に關する[illegible]ぬ中石塚長官は可然解決す[illegible]う▲鳥兎匆々本年は三田翁の十周忌だ、日本國民の今[illegible]に負ふところ少からずだ、[illegible]むか濟まぬに世人はハヤ寄[illegible]んとして居る、ソコになる[illegible]宗の開山は末代ものだ▲韓[illegible]出の利子二厘づゝを下げた[illegible]融の緩漫なることが判から[illegible]は普通の觀察だ、ナゼかそ[illegible]の金利は實際の金融とは[illegible]關係を有たぬからだ▲東[illegible]十萬圓を有する個政と云[illegible]げられた死鐵のデモ神で[illegible]を待合に引入れインチキを[illegible]の約束手形を捲上げ其手[illegible]に法庭まで煩して居る奴[illegible]の奴輩は個政關係檢擧[illegible]▲飯が喰へぬとて[illegible]東京にある、これに比す[illegible]氣と云つて朝鮮はまだ[illegible]



韓刺客の動靜

▲爆裂彈携帶の韓人
▲金三俊嚴原に入る

聞くところに依れば去る二十五日午後八時定期命令船なる天祐丸が博多港を出帆せんとする際同船の一等室片隅に無言にて蹲ひ居たる面色青白き五分刈頭の一種凄味ありさも人目を憚る樣の怪しければ當夜臨檢の福岡水上署詰の巡査は此奴怪しと引捕へて訊問したるに言を左右に托して容易に實を吐かず殊に言語の端々は韓音を含みたる所あるより韓語に巧みなる同巡査は一層疑念を深め彼の急所を捉らへ一應甲板に連出し取調べたるに果して彼こそ生粋の朝鮮人にして其名を金三俊(三七)と呼べる事及び容易ならざる陰謀を企て居る曲者なる事を發見せり彼は紺セル詰襟の洋服に同色紺羅紗金釦付きの外套をスッポリ被り巧みに日本語を操る處より察すれば永く東京方面に滯在して某學校に通學し居りたるものなるべく最も鋭利なる白鞘の短刀一口および爆裂彈二個を所持し居れり同人は廿五日午後三時三十分博多着の列車にて門司より博多に入りたるも發船時間迄は同市内の何處に潜伏し居りたるや不明なるも確かに刺客の一人にして一應水上署へ引致の上嚴重なる取調べを受け六日天祐丸にて對州嚴原に向へり其後の行動は其筋の秘密に附せられつゝあり、それかあらぬか此程も一名の韓人が清國人に扮裝し大連より大阪商船會社の宮崎丸に乘込み門司に上陸したるも其筋の注目する所となり取調べを受けたるが彼は襄毛の外套に襄毛の襟巻を着し精巧なる五連發の短銃を帶び居たれば其筋にては警官を尾行せしめたることあり近日來は滿洲より敦賀又は關釜連絡船にて下關に上陸せんと企てつゝありしも我が官憲の警戒嚴しきを悟り安東縣仁川等より大連芝罘までわざ〳〵迂廻し船に乘じ香港、門司、博多又は神戸大阪に上陸し居れる形跡あり各地にては平服巡査を増加し一層嚴重に取調べ居れりと

清國葉錢押收

▲韓貨にて三千兩餘

釜山港暑下洞李錫九と云ふは清國葉錢を密輸入して去る六日汽船永盛丸にて四叺(韓貨八百兩)を襄陽郡金津金敬番に同じく二十五日三浪丸にて江陵郡江陵笛文基宛に六叺(千三百九十二兩)を何れも注文津より輸送せし事發覺し金宛の内二百兩餘は注文津分遣所に苗宛の二百二十六兩大五叺並に百五十兩は江陵分遣所にて保管し其處分に付ては釜山理事官に申告中なりとか

不埒なる郡守(一)

里民の窮乏……原因は郡守の戀……姉の色を賣る里長……里民の連判請願

全羅南道濟州郡に月汀里と金寧とに抱かれたる自づからなる灣あり年古くより天然岩の錠かれて浪を避けたれば潮の滿つると共に魚類は流れに從ふて金寧の東岸松浦より月汀里の西北に位する發浪浦に押やられ松浦の漁城にて網の目潛れたる魚介は干潟となるにつれ發浪浦にて自在に漁るを得る事となり居たり、同島の重なる漁は鰯にて金寧月汀里兩里民はこの潤澤なる無限の寶庫の恩澤に浴し太平長久を壽ほぎ居たりしに處に端なくも一婦人の色に溺れて專横を極むる郡守と姉の色香を賣つて私腹を肥やす里長とを出し後來金寧月汀里兩里民をして紛爭渦中に沒了せしめ饑渴に泣くの慘劇を演ずるに至らしめたるぞ慨たてし、今其の顛末を訊して見るに去ぬる七年前洪某と稱するもの濟州郡守に任命せられ就任後間もなく月汀里の住民にて金龍澤と呼ぶ無文無智の一漁夫の姉が妓生として美貌の噂さ高きを傳へ聞きまだ見ぬ戀の心の闇狂ひに狂ふ意馬心猿抑へ難く郡守の權を笠に被て金龍澤に迫り件の妓生を妻に娶らんとせり、金は眼中一丁字こそなけれ老獪譎詐人を人とも思はぬ白者なれば秘めたる胸の一物に我が時至れりと北叟笑みつゝ洪の請ふがまゝ姉を許して妻に與へたり、色香に迷ひて宇宙天となれる洪郡守は妻に媚びんが爲め弟の金を里長に任命し金の言ふとし云へば如何なる曲非にても唯々諾々請ふがまゝに之を許しぬ、金は洪郡守の與みし易きを看破り里長の權を振まはし何等の罪なきものに姦通の罪名を負はし酒氾を誅求し保安林を伐採する等種々なる暴虐を行ひ賄賂其他にて恣に私利を營みたるばかりか遂に金寧月汀里の兩里民が命と賴む松浦の漁業權を一手に獨占せんとしたり、今韓國法規を按ずるに漁城の獨占は悉く皇室の許可を受けざる可らずとの明文あり殊に習慣法として漁城附近の住民の同意を得るに非ざれば之を個人に貸與若くは獨占せしむる事能はざるものとなりをれるにも拘はらず洪郡守は全然之等の明文習慣を無視し只管ら金の歡心を得んが爲め尤も手近なる里長面長に之を諮る事をなさず恣に權浦の漁業權を與ふ可らざるに金一人に與へたり

●金の仇を石で打つ

▲何も云はずに後から

仁川花町三丁目居住の金貸業佐賀生れの山下龍藏(三七)と云ふは一昨日午後十時頃同地栗木洞火葬場横手を通行中何者とも知れぬ韓人の爲め石を以て顔部を毆打され全面血塗れとなりて宮町派出所に屆出でければ一方加害者の搜査に着手したるが件の韓人は思ふ存分に龍藏をば撲りたる儘一目散に逃亡せし事こて其何者なるや分明せずと雖も被害者の申立つる處に依れば同地新昌洞宮永某所有に係る土地賃料を不拂の爲め同洞なる朱元奎(三二)と云ふに立退きを迫りたる事あれば若しや右朱が之れを遺恨に思ひ暴行に出でしものならんとの事にて一先づ同人を仁川署に引致して取調中なりと

●風變りの珍聞紙

▲發行高はタッタ一枚

今の露國皇帝陛下は却々の新聞好きで世界各國夫れ〳〵の新聞から掛りの者に面白さうな記事と必要な記事を切抜かせ夫れを貼りつけた大冊ものゝ即ち全く鋏と糊で出來た一種の新聞を讀まるゝ事は歐洲各國の君主と同樣であるが此外に皇帝は全く外に類の無い新聞を讀まれて居る其名は『ザルストヴーリストック』即ち『露帝の新聞』と言ふもので其の編輯長は警視總監が相勤め其發行高は驚く勿れ正にタッタ一枚で唯一の讀者は即ち皇帝である此新聞は創刊以來既に十二箇年の月日を印刷數減りもせず增しもせずズットと一枚で通して居るのである警視總監から毎朝々々此新聞印刷高全部を擧げて皇帝に差上げると皇帝は熱心に之を讀まれ所々には鉛筆で記事の批評や感慨其他の觀察を書いて置かれる夫れを侍從が後で警視廳へ送る警視廳では皇帝の書入れを夫れ〳〵參考として種々畫策もし實行もすると云ふ事に爲つて居る

●清國人の殺傷

當時水原郡烏山に居住し雜貨商を營む清國人李培輪(三一)と云ふは去る三日午前五時三十分自宅に於て商品賣上代金の計算上より同國人の某と口論を始め双方云ひ募りたる結果鬪爭をなし李は咽喉部にナイフを以て長さ一寸深さ四分の重傷を負はせられたる椿事あり加害者は即座に逮捕され京城の清國領事館に引致せらる

●妹の保護願

神戸市兵庫須佐野通り一丁目住の犬伏勝三郎と云ふは其の妹犬伏しげ(十三)なる小娘を四十二年一月十八日金百圓の前借にて藝妓見習として當地長谷川町二丁目福田鑑太郎に年期養女として遣はしたる處近頃は未成年者のしげに淫を强ゐるらしき面白からぬ噂を耳にし大に驚き過日南部署に向け同女の保護方を願ひ出しかば同署にては福田及本人を召喚の上説諭を加へ侑勝三郎より來月五日迄に金五十圓を送金の筈にて右金を以て前借支拂ひ濟みとしてしげを國元へ送還する事となりて落着

●猩紅熱病者

若草町一丁目八十七番戸吉崎明一(十四)は去る三日發病昨七日檢診の結果猩紅熱患者と決定大韓醫院へ送らる

●奇特の韓人

漢江十七統六戸の林宗相と云ふは地方に於ける素封家にして慈善心に厚きものなるが本月二日漢江坊内の貧民にして糊口に窮する者三十四名に對し各四圓宛を惠與したりと云ふ

●短期は矢張損氣

仁川本町慶田組雇人柴田謙助と云ふは一昨日仁川驛構内に於て些々たる言語の行違より荷物運搬人趙某を毆打し警官に説諭さる

●新町の健康診斷

一昨日の新町遊廓健康診斷の結果は入院三名自宅診斷三名休業通院八名就業通院六名にして退院者二名なり

●一昨日の新町

一昨七日の新町遊廓登樓客は八十四名にして其の消費金高四百九十七圓十三錢

▲編輯日誌▼

桃睡が禁酒すると云ふ柳江が何か言ひた相に口を動かす、むら君は眞實ですかと變に笑ふ、三時頃柳江提出の振り問題が出る、むら君は那麼振は可くないと云ふ、桃睡が困らせ振だらうと追加する、此の振りは何振りやら編輯以外には不可解の事丁度四時

演藝

●歌舞伎座 昨七日初日を出したる親友會田宮一座の新劇本晩の替り狂言は『明治鹽原人か馬か』の通し物なりと

●浪花館 連夜大入の喝采を拍し居る同館本晩の出し物は左の如くにして大切は例に依って總掛合『忠臣藏七ッ目』御祝儀實の入船(越吉)柳(今子)忠五 此菊)玉三(此消)梅忠新口村(春吉)太功記十(小妻)御所三(圓菊)岩井風呂(越之助)三味線(今吉)

▲壽座 舊劇にて相當の入りを占め居る同座二日目の本晩は『木下蔭狹間合戰』全五幕其の役割は左枝犬清、木下藤吉(坂東大之助)竹中官園路、傾城芙蓉(市川猿志)竹中息千代、娘小冬(片岡小蝶)玉島力蓮太、堀井藤太、足柄金藏實は蜂須賀小六(嵐芳之助)小田信長、足利義輝 市川鯉章 大祖三郎(市川鯉昇)齋藤義龍、四の宮源吾、治左衛門(市川好猿)竹中官兵衛重治、石川五右衛門(片岡鯉昇)

▲平民文庫▼

▲五日の午后二時頃であつた、所用があつて過日半燒けになつた嬉野の上の方、即ち永樂町一丁目の松下さんの家の前を通り罹ると同家の内で二十七八になる女が二十位にもなるかと思はれる女を捉へて打つ撲るの大亂痴氣を演じて居る▲ハテ何うしたことゝ思ふ間もなく二十位の女の方が堪らなくなつたと見れて戶外へ駈け出した勿論泣きながらである▲仔細なくて叶ふまじと呼び止めて問ひ糺せば事實は實に斯うである▲自分はツヒ先日此の松下さんに御奉公申したものであるが女中のれ雪さん――今私を打つてました人、アノ人が大變意地の惡いので勤め切れず二三日前れ暇を頂きましたのですが自分の荷物中少々取り殘したものがあるので出して頂きたいと賴んだが出して與れないので樣子を知つて居ますからと自分で取りに上つたのを怒つてアンナに小突かれました外に仔細と云ふても何も御座いません▲れ雪さんの人の惡い代り奥樣は誠に結構な方で御座いますと淚片手に物語つた▲れ雪さんとやら少し女らしくせぬと損だよ(鳳閣子)

▲浪花館の圓菊さんに申上げます貴女に二百度以上に上氣て家も金も名譽もいらぬ何んな苦勢してもいゝと云ふてる人がありますよ(デン〳〵生)

▲御登載有難く御禮申述べ候早速推參致し御盡力に預り度と存じ候得共何分にも家事多忙の爲め其の意を得ず甚だ失禮には候へども幸に我る人之れ有り候へば何卒紙上にて御教へ下されたし貴社のれ力にすがり是非勉强致し度と存し候何卒御盡力の程幾重にも願上候かしく(無學女)▲無學女よ讀書御望みならばいつにても存知丈けはれ授け申しますれ差しつかへがなければ但し報酬も何にも必用は有ませぬ併し老女とあれは里程の都合も有りませう(姓名在社)▲無學女さんよ此のれ方ならば確實な方であることを私に於て保證します貴女の所が知れゝば通知して上げます(文庫係)▲僕は美味いすしが食べたい(への字)▲御遠慮なく澤山召し食れ(小僧)

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

二月九日月齡十二ノ廿九三碧佛滅乙己平△一白 平凡靜謐の日なり金融に關する業務には妙△二黑 開運給援起り出し又過失により自他の什器を損壞す△三碧 中傷誹謗を受け易し旅行は見合せ勿れ△轉住入門婚姻共同組合凶御盗害防ぐべし△四綠 知己親族間に不和絶交の端起らん業務上軋轢競爭に遭ふあり△五黄 職業勤士には吉其他概して不事の日なり△六白 障害姦滑多し新事見合の事凶旅行轉住凶△七赤 沈衰の日新事凶建築勤士農業には吉△八白 徒勞多き日なり金談相談契約面白からず△九紫 顯達の日なり大凡吉婚姻養子旅行舟出命名披露吉

●天氣豫報(自八日午後六時 至九日午後六時) 北の風晴

七日(華氏) 最高温度 四一、〇 最低温度 二八、四

美術半襟帯締其他細類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●年齢十五歳位の小供入用 希望者は来談ありたし 三井物産京城支店
●自宅書生 に應ず 韓稚衣舘參堂（電話一一六八）
●嬢上女中 十五六歳の女子高等官舍上女中見習たし雇給致します 氏名在社（八）
●店員雇入 十四五歳の者希望者來談あれ日の出町下山商行（電一〇〇七）

物件部

●貸家 西大門内舊韓國軍人舘六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 病所清水方へ
●電話讓渡又は貸付 九阿〇番直談面談に限る 本町四 賛化堂藥店
●老舗譲渡 本町一丁目目抜の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居抜の儘至急譲渡したし 旭町一の六〇 山村
●貸家 南大門外吉野町一戸建四畝三間家賃十七圓外に長屋建もあり汽車電車に近く出入便希望の方は電話七四番
●求貸家 水樂町二三丁目にて貸家を求む溝男一人温突ならば最佳 氏名在社

廣告

一大營養新藥
人體の肥料
牛乳の數倍

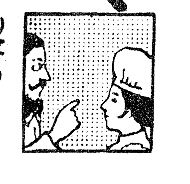


●賣捌は全國各藥店にあり

入院隨意
龍山新市街山下町
内科 小兒科 婦人科
原醫院

診察時間改正廣告
二月一日より松村先生の診察時間を左の通り改正す
自午前九時至正午
但他は從前の通り
龍山榮町（電話六〇三番）
龍山醫院

醫師に問へ



斯の如きクラブの原料は皮膚に如何なる効果あるか各位の信頼せる醫師に問へ

本品の保證は只賢明なる愛用者と博識なる醫師の批判に信頼す

最近のクラブ洗粉主要原料

一、ミルク、フレーク（米國製）
一、クリミラ（米國製）
一、マスク（佛國製）
一、ボルチオール（獨逸國製）
一、精製せるソープ、パウダー（日本藥局方）
一、ボリシック、エシッド（英國藥局方）
一、藥用ソープ、パウダー（日本藥局方）
一、精製スターチ（米國製）
一、特製のスターチ（日本特産品）
一、ボラックス（日本藥局方）

此の外に猶

特種の香料と美身藥劑を配合し常に製品の改善に熱中しつゝあり

皮膚の滋養品



クラブ洗粉の原料中には皮膚の自然美と健康美を増すに適當なる營養物を含有す

故に舶來石鹸よりも遙に優る特色を有する事を謹而公表仕候

クラブ洗粉製造元
帝國化粧品倶樂部
經營者 中山太一

營業擴張廣告

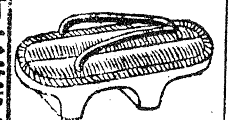
土地家屋並に商品擔保

右は秘密確實最低利に取扱可申候間續々御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記御便利の箇所へ電話又は端書にて御申越被下候へば早速罷出可申候

質企業

京城竹園町二丁目 樋下田本店（電話九三二番）
京城相生町（南大門小魚市場東裏） 樋下田支店（電話一四三九番）
龍山清水町六十三番戸 樋下田支店 電話四〇四番

東京足袋



本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

石川高等法院判事閲 今村内部警務局警視閲 日韓印刷株式會社編輯部編纂

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

◎印刷鮮明 ◎類集整飭 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

●全一冊●紙數凡六百頁〇菊判半截形●定價金六十錢

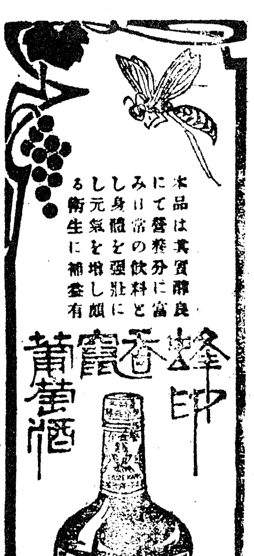
右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々数百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層蒐發等致し大韓帝國協約、官制、官規、官等等級俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して一見明白に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か慾張に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城 日韓印刷株式會社出版部

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
電話六十五番

胃腸新藥
タカヂアスターゼ
韓國總代理店
仁川本町二丁目電話八五〇番
竹田津三平



紙と印刷

諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本（ハリモト）商店
京城本町六丁目
電話百拾番

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）

和洋酒、酒精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣官衙御望に依り商品切手調進仕候

綿わた綿ワタ たやすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ッ角
卸問屋 唐川商店
電話二六一番

●唐津石炭直輸入商
並ニ平壤無煙炭あり
京城太平町一丁目九五
南大門高等女學校裏通り
近藤商店
電話八百三十五番

外科 内科
梅毒痳病專門
●京城御成町南大門外一丁南
●入院隨意
●電話番號九三八番
戸田病院

日本郵船株式會社 廣告
瀛船仁川出帆
電話十番
仁川海岸通
電話三九番
貨物及船客取扱店
郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戸行
山東丸 二月十一日後三時出
●大連行
相模丸 二月十五日正午時出
●大連、太沽行
山東丸 三月二日午前六時出
●大連太沽行
酒田丸 三月五日正午時出
●釜山出帆元山、清津、浦鹽行
立神丸 二月十六日午後時出

御注意
御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事